

現存最古の学生寮を取り壊したらだめ！

公開学習会「なぜ京大に吉田寮が必要か」

京都大学吉田寮の元寮生でつくる「21世紀に吉田寮を活かす元寮生の会」です。吉田寮の現棟について、京都大学が取り壊しを前提に立て替え方針を公表したことに危惧を抱き、建築文化財としての重要性を学ぶ企画を行います。

吉田寮現棟と食堂は1913年に建築されました。学生寮として国内現存最古の建物であるとともに、旧制第三高等学校の建物の一部を引き継ぐ京大最古の建造物であり、建築文化財としてかけがえのない価値があります。さらにいえば、110余年の長きにわたって学生が生活を共にし、人が行き交う「長屋」で多くのことを学んで自らの糧としてきました。その存在は、これからの京大にとっても大きな意味があると考えております。

今回の学習会は、吉田寮現棟の歴史をひもとき、なぜ建築文化財として重要なのかを学び、補修・改修、未来への継承について考えたいと思います。

講師の山根芳洋さん（七灯社建築研究所主宰）は、吉田寮の実測調査や学内史料の検討を基に、現棟と食堂が三高寄宿舍を移築したことを突き止め、食堂の補修と保全につなげました。現棟と三高寄宿舍のつながり、大学として寄宿舍建築を保全する意味についてお話を伺い、今後の活動について参加された皆さんと意見交換をしたいと思います。



6月20日(土)午後2時半から 京都大学・楽友会館

(京都市左京区吉田二本松町 近衛通東大路東入ル 市バス「近衛通」下車すぐ)

講師 山根芳洋さん(建築家、七灯社建築研究所主宰)

参加無料 主催・問い合わせ先 元寮生の会 inaniwa@ymail.ne.jp

オンライン(Zoom)での参加をご希望の方はお知らせください

当会につきましてはブログ(<https://yoshidaryo.cloudfree.jp/>)をご参照を